



緑東中学校だより No.2
文責 荒川 国博
令和6年5月21日発行

【緑東中の教育目標】

ふる里を大切に思い、心豊かでたくましく生きる生徒の育成
～自分で考え、他と協力し、共に高め合う人へ～

みんなで創りあげた「一笑懸命」の体育大会!

5月18日(土)は晴天に恵まれ、令和6年度の体育大会を開催することができました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4年間ご来賓をお招きできませんでしたが、今年度は多数のご来賓をお招きしての開催となりました。ご来賓の皆様、大会に花を添えていただき、心より感謝申し上げます。

さて、5月1日の結団式から始まり、体育大会のスローガン「一笑懸命～みんなの笑顔が世界一～」のもと、赤団団長の上村君、白団団長の森田君、そして、生徒会執行部がリーダーシップを発揮し、練習や準備を頑張ってきました。

子供たちの当日までの練習や準備を見ていて、緑東中のよさを改めて感じました。次の2点です。

① 全校生徒は30人なので、一人一人の受け持つ仕事や役割はとて多く、大変ではあるが、それをやり切ったときの充実感や達成感は、大きな学校に引けを取らない。

② ほとんどの練習を全校生徒で行うので、学年間の絆も強くなる。3年生が下級生に教えたり、下級生を励ましたりして、全体をまとめながら練習や準備を進める姿は素晴らしい。

子供たちは、一生懸命に競技し、一生懸命に仲間を応援し、一生懸命に係の仕事を行いました。ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、応援ありがとうございました。今後も緑東中にお力添えいただければ幸いです。



↑ 体育大会スローガン (看板)

今日は待ちに待った体育大会です。今年の体育大会テーマは「一笑懸命～みんなの笑顔が世界一～」です。4月末から、2・3年生より体育大会テーマの案を募集し、全校生徒で話し合った結果、全校生徒全ての思いを乗せた、この体育大会テーマに決まりました。これまでの練習では、3年生を中心にスローガン書きやダンスの練習を行い、体育大会に向けて一人一人、自分で練習できる事を一生懸命頑張ってきました。今日は、今まで練習してもらって支えてくれた先生や家族の人たちへの感謝の気持ちを込めて、全校生徒30名の力を合わせて、最高の体育大会を作り上げていきましょう。



→ 生徒会長 中村さんの挨拶

↑ 開会式 ご来賓の皆様



↑ 各団団長の選手宣誓



800m走 ↑ →



↑ 生徒会ローガン (看板)

↑ → 1・2年技巧走





大縄跳び ↑→



←↑ 100m走

三年生親子競技



P T A 競技 ↑→



←↑綱引き



←↑全員リレー



↑1年生ダンス決めポーズ



↑2年生ダンス決めポーズ



↑3年生ダンス決めポーズ



↑ 優勝赤団
→ 準優勝白団



→感想発表
赤団団長の上村君



→感想発表
白団団長の森田君

体育大会を通して僕はみんなと協力することが改めて大切だと感じました。全校生徒で取り組む綱引きや大縄、リレーでは仲間と団結して昼休みなどにたくさん練習しました。負けてしまった競技もありますが全員で取り組むことができて良かったです。これからみんなで協力してよりよい緑東中学校にいきましょう。

ぼくが、印象に残っていることは、ダンスです。なぜなら、振り付けを考えたり、教えたりすることができたので、いい発表ができたと思ったからです。体育大会を通して感じたことは、下級生を引っ張ることの難しさです。下級生にわかりやすく説明することを通して、表現力や伝達力などの力をつけることができました。この力は、これからの人生でも必要な力なので、いろんな場面で発揮していきたいです。今日まで、練習から本番までお疲れ様でした。体育大会で学んだことを、学校生活でも活かしていきます。